

文教委員会追加資料

2 所管事務の調査（報告）

（2）乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）について

資料 令和6年度こども誰でも通園制度（試行的事業）実施施設アンケート

こども未来局

（令和7年1月31日）

令和6年度こども誰でも通園制度（試行的事業） 実施施設アンケート

「その他意見や希望等があれば自由に御記入ください。」

回答内容（自由記述）
受入人数にかかわらず一定の運営費補助があるとよい。
対応には経験や力量が必要となるため、保育士1人分を雇えるだけの運営費補助がほしい。
本格実施に向けてはスペースの検討など一定の準備期間が必要
一時保育との違いも含めて、制度の趣旨や目的をもっと周知してほしい。
虐待の未然防止や要支援家庭への関わりを行うためには定期的な通園が必要であり、利用時間を保護者に委ねるのではなく、必要な時間を担保したい。
毎月の利用状況報告が少し負担である。
親からの聞き取りでしか子どもの特性が分からぬ中で、在園児と一緒に預かりを行うのは不安である。いい施策であるとは思うが、専用の施設か専用の部屋で実施した方がいいと思う。
どんな性格の子ども親からの聞き取りでしか感じられない状況で、在園児と一緒に散歩や戸外へ出かけるのはあまりにも不安が大きいです。「手をつないで歩けるのか」「突然飛び出しまわないか」など、そういう危険性まで考えたうえで実施に至ったのか、ただただ決まったことだからやってください、と丸投げされている感じてしまうので、しっかり納得できる説明やプレゼンをしていただきたいです。
通園制度と謳うからには最低でも週1日の継続登園は必要ではないかと感じる。保護者には制度の趣旨を説明し、なるべく定期利用を行っていただくようお願いしている。自由利用を認めると一時保育との違いがますます不明確になる。
子育てをする保護者の負担が少しでも減ることになるので、引き続き実施をお願いしたい。
誰でも通園を登録した園で入園できるようにポイント制にするなどして欲しい。保護者も園児も慣れた状態で入園することができると思う。
収益が見込めるとの本部からの業務命令的な実施であったため、特に人員配置の面で難しかった。また、園で保育を運営する側としては業務負担が増えるので苦しかった。

※誤字・脱字については修正しています。